

輝く笑顔だより

R8. 3. 9 文責 副校長 横田 和重

命を大切にし、思いやりのある北諫早っ子
きたいに癒えます
いつも笑顔で挨拶します
さいごまで あきらめません
はやね 早起き朝ごはんて生活します
やくそくを守ります
いのちを大切にします。
【北諫早小学校 こころの教育推進会議】

お別れ集会 ～感謝の思い～

「カリスマックス♪」保護者の皆さんはピンときますか？Snow Manのダンスミュージックだそうです。私はすでについていけません。子どもたちはよく知っていますね。「お別れ集会」でも3年生がのびのびとダンスを披露してくれました。「お別れ集会」は、これまで学校のリーダーとして活躍してくれた6年生に感謝の気持ちを伝えようと、1年生から5年生までが心を込めて企画をして準備を進めてきた会になります。各学年からの出し物や歌のプレゼントなどがあり、会場は温かい拍手と笑顔に包まれました。



6年生も卒業式でも歌う「変わらないもの」を披露し、絆の大切さや感謝の思い、そして未来に向かって前向きに生きる決意を示してくれました。

全校児童が一つになって過ごしたこの時間は、感謝の思いにあふれた大切なひとときとなりました。



石川県金沢市立鞍月小学校との交流(3年生)

「盆の十五六日やおしょうらい しょうらい〜♪」これは金沢市鞍月地区の民謡「南無とせ節」の一節です。保護者の方でご存じの方いらっしゃいますか？本校では、子どもたちのコミュニケーション力を育てることを目的の一つとして、オンラインによる石川県金沢市との学校間交流を昨年度から実施しています。今年度は金沢市立鞍月小学校と3月5日に交流会を行いました。

子どもたちは、交流前に「うまく話せるかな」と緊張した様子も見られましたが、本番では、練習どおりに発表できる子どもたくさんいました。また、相手の話をうなずきながら聞き、質問をするなど対話を大切にする態度も育ってきています。

オンラインという環境だからこそ、表情や声の大きさ、話す順番などを意識することが大切です。子どもたちは、実際の体験をとおして「伝える力」「聞く力」の大切さを学びました。



3月11日～東日本大震災から15年～

東日本大震災が発生して、明後日で15年目を迎えます。日頃の何気ない生活ができることの幸せに感謝しつつも、災害への心構えや備えは過去の教訓をもとに考える必要があります。

自分の命は自分で守る意識をもつことがとても大切です。低学年の子どもたちには難しいことかもしれませんが、安全を常に意識させておく必要はあると思います。防災への意識をご家庭でも高めていただければと思います。

